

防犯設備士養成講習・資格認定試験の日程

年度	開催回	募集・講習・試験の日程
2024 年度	第 126 回	募集：3/25 ～ 5/5 講習：4/ 1 ～ 6/9 試験：4/ 8 ～ 6/9
	第 127 回	募集：6/24 ～ 8/4 講習：7/ 1 ～ 9/8 試験：7/ 8 ～ 9/8
	第 128 回	募集：9/23 ～ 11/3 講習：9/30 ～ 12/8 試験：10/7 ～ 12/8
	第 129 回 (2025 年)	募集：12/23 ～ 2/2 講習：12/30 ～ 3/9 試験：1/7 ～ 3/9

※募集・講習・試験の日程は変更となる場合があります。最新の情報は、当協会ホームページをご確認ください。<https://www.ssaj.or.jp/entry/schedule.php>

受講・受験は、IT 方式で実施しています

【受 講】

インターネット（Wi-Fi も可）経由でストリーミング配信する講習動画を視聴する方式です。

受講期間内であれば、何回でも視聴することができます。スマートフォンでも視聴可能ですが、小さな画面のため、講習用資料の文字が見えにくい場合もあることにご留意ください。

別途、有償で DVD も準備しています。

【受 験】

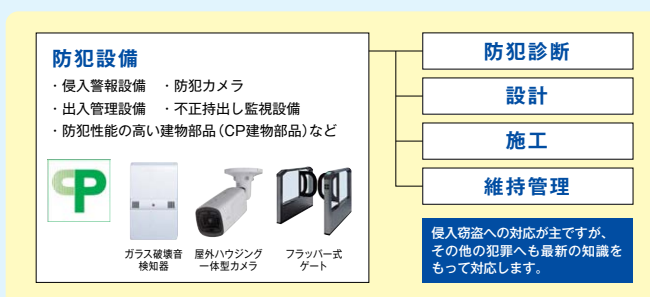
全国 47 都道府県にある約 300 箇所のテストセンターで、ご都合の良い時間を各自予約して受験します。テストセンターにあるパソコン上のマウスで答えを選択する方式です。

受験期間内であれば、予約は何回でも変更可能（予約した日の 3 日前迄）です。

防犯設備士は「防犯のプロフェッショナル」

防犯設備士は、防犯設備に関する知識・技能を有する専門家として当協会が認定する資格で、1992年より現在までに、32,000人を超える方が、資格を取得し、「防犯のプロフェッショナル」として、警察、自治体や各地域の防犯設備士関連の地域協会と連携し、地域の防犯対策や安全安心まちづくりなどに活躍しています。

また最近では、防犯カメラ等の防犯設備を調達する際に自治体の入札仕様書に、「施工・調整や保守点検については、防犯設備士の有資格者が行うこと」ということが記載されることもあり、防犯設備士の役割がますます重要になってきています。



2024年度 総合防犯設備士受験セミナー・資格認定試験のご案内

総合防犯設備士は、総合力で様々な防犯課題を解決する専門家です。

- (1) 防犯設備士の上位資格であり、防犯システムにおける**監理、監査、コンサルティング**ができる能力を有する、**防犯設備関係の認定資格としては国内最高ランクのものです**。「ハード（設備面）」だけではなく、**管理体制の構築・セキュリティ意識の高揚・監査**など、いわゆる「ソフト面」も含めた提言をします。
- (2) 防犯設備士に対する指導・育成業務を行うことができます。
- (3) 「セキュリティのプロ中のプロ」として地域住民や警察・自治体関係者などと協力し、積極的に地域での防犯活動を展開して、地域の安全安心に貢献しています。これらの活動の中で、リーダーシップを発揮できる者として期待されています。

2024年度から試験制度を大きく変更し、受験資格の緩和や科目合格制度への切り替え等を行い、たいへん受験しやすくなりましたので、是非チャレンジをお願いします。制度変更の詳細はホームページをご覧ください。

https://www.ssaj.or.jp/security_officer_sogo/pdf/minaoshi.pdf



No	名 称	開 催 日	開催地	会 場 名	募集人員	募集期間
1	受験セミナーNo.1	7月17日(水)	オンライン	—	60名	6/10～7/10
2	受験セミナーNo.2	7月27日(土)	オンライン		60名	
3	受験セミナーNo.3	8月24日(土)	オンライン		60名	7/20～8/16
4	受験セミナーNo.4	8月31日(土)	オンライン		60名	
5	筆記試験一次	10月 5日(土)	東 京	飯田橋レインボービル	—	7/1～9/17
6			大 阪	新梅田研修センター	—	
7	講習認定試験	11月 2日(土)	東 京	日本防犯設備協会	書類審査 合格者	6/1～6/30
8	筆記試験二次(面接)	11月30日(土)	東 京	日本防犯設備協会	一次試験 合格者	—
9		12月 7日(土)	大 阪	新梅田研修センター		

❖ 防犯設備士養成講習・資格認定試験のご案内 ❖

IT 方式で実施しています

特にこんな方にオススメ!!

防犯、セキュリティ関係の業務で、
防犯の基礎、設備機器、設計、施工等の基本を
しっかり勉強したい方に最適な資格です。

- ・ 忙しくて講習・受験にまとまった時間をとれない方
- ・ 受験日等の予定を頻繁に変更しなければならない方
- ・ 全国どこでも受験可能（宿泊費不要、交通費最小）



IT 方式

年間 4 回実施

講習

講習動画をオンライン配信
時間、場所の制約無し
繰り返し視聴可能

試験

試験は110分間1つに統合
全国47都道府県、約300か所の
テストセンター^(注)の中から
約2か月間の中で各自が自由に受験日を予約

(注)：テストセンターには多数のPCが配置されており、試験はPCのマウスで答えをクリックします。
また、入場前に受付で本人確認を行い、私物はロッカーに入れます。



オフィスで



カフェで



家で



テストセンターの様子



公益社団法人 日本防犯設備協会

問合せ先：03-3431-7301

URL：<https://www.ssaj.or.jp/>



テストセンターの使用は、(株)CBT-Solutionsのご協力をいただいています。
テストセンターの詳細は、下記のURLを参照してください。
<https://cbt-s.com/testcenter/>

2023年度の防犯設備士更新講習の結果と2024年度について

更新講習は2021年度から始め、3年目となりました。2023年度からは関東ブロックを新たに追加し、関東ブロック、中部ブロック、関西ブロック、九州ブロックで実施しました。運営は、日本防犯設備協会、ブロックで中心となって実施する地域協会と周辺の地域協会が協力して実施し、該当するブロック外からの参加も多く、好評でした。2024年度も同じブロックで開催します。

更新講習は次のような時間構成で実施しました。

1) 午前の部 10:00～12:00

地域協会が主催する催しで、更新対象者は参加任意。更新対象者以外が参加可能。
防犯関連機器の展示会やセミナー。

2) 共通講習 13:30～15:00

各地域共通の講習内容で資格更新テキストの内容を説明する。資格更新テキストは、犯罪情勢、設備機器（出入管理設備、LED防犯灯）の情報更新の他、防犯カメラ特集として、4K/AHDカメラ、ネットワークの基礎、防犯カメラ画像と個人情報保護法との関係、施工など盛り沢山の内容となっています。
更新対象者は参加必須。更新対象者以外は参加不可。

3) 地域協会主催セミナー 15:10～16:40

地域協会が主催するセミナーで、更新対象者は参加任意。更新対象者以外が参加可能。



防犯機器展示会の様子



共通講習の様子

※2023年度の更新講習のまとめは次ページを参照してください。

2023年度の更新講習のまとめ

NO	実施日	実施場所	共通講習の参加数	午前の部の内容	地域協会主催セミナーの内容
1	2023年 8月2日 (水)	IKE・Bizとしま 産業振興プラザ (東京)	68名 関東ブロック内： 64名 ブロック外： 4名	1) 防犯機器展示会-11社 AI防犯カメラ、インターホン、電気錠など 2) 警視庁によるCP部品普及促進キャンペーン	強盗などの犯罪情勢と防犯対策 [約50名参加]
2	2023年 9月29日 (金)	大阪府警備業協会 (大阪)	64名 関西ブロック内： 59名 ブロック外： 5名	防犯機器展示会-16社 防犯カメラ、スマートロック、玄関電気錠、インターホン等。 防犯設備士だけでなく、警察、地方自治体などの公的関係機関からも多数参加。 [参加者合計で109名]	過去の犯罪から学ぶ最新の防犯対策 [71名参加]
3	2023年 10月4日 (水)	ウィルあいち (名古屋)	41名 愛知・岐阜・三重： 40名 ブロック外： 1名	防犯機器展示会-7社 AI防犯カメラ、インターホン、スマートロックなど [参加者19名]	1) AI機能付き防犯カメラについて [23名参加]
4	2023年 10月20日 (金)	福岡県消防会館 (福岡)	45名 九州ブロック： 41名 ブロック外： 4名	1) 防犯講演会 AIカメラとは、AIカメラの活用シーン 2) 防犯セミナー 過去の重要犯罪の分析と対策を考える [参加者20名]	1) 犯罪状況とその対策・防犯設備士に期待するもの 2) 安全安心は当事者意識を持って自己管理 [15名参加]
5	2023年 11月7日 (火)	IKE・Bizとしま 産業振興プラザ (東京)	78名 関東ブロック内： 71名 ブロック外： 7名	防犯セミナー 万引き犯の挙動と手口 [参加者30名] (ASES会員のZoom参加含む)	住まいの強盗対策と防犯性能の高い建物部品など [38名参加]
6	2024年 2月16日 (金)	エルおおさか (大阪)	42名 関西ブロック内： 36名 ブロック外： 6名	防犯機器展示会-14社 防犯カメラ、スマートロック、玄関電気錠、インターホン等。 防犯設備士だけでなく、警察、地方自治体などの公的関係機関からも多数参加。 [参加者合計で110名]	過去の犯罪から学ぶ最新の防犯対策 [61名参加]
7	2024年 3月14日 (木)	TFTビル (東京)	77名 関東ブロック内： 70名 ブロック外： 7名	セキュリティショー開催期間のため、午前はセキュリティショー見学用としてイベント無し。	IoT機器のセキュリティ認証について [19名参加]

防犯設備士(優良)について

資格更新をしていただいた方の優位性を高めるために新規に制定した制度です。

◆防犯設備士(優良)とは ※通称、優良防犯設備士(口頭で呼ぶ場合)

- (1) 資格更新を行い、かつ有効期限内であり、資格更新時及びその後も継続的に最新の知識を取得しており、社会的信頼性が高い。
- (2) 連絡先が明確であり、日防設から必要に応じて連絡することができる。
- (3) 2020年4月1日以降の資格更新者から適用開始

◆優位性を高めた内容

- (1) 資格者証を一新し、一目で防犯設備士(優良)であることがわかる。
- (2) 専用の名刺シールとネックストラップを使用することができる。
- (3) 日防設ジャーナルを毎号受領でき、その他の有用情報も継続的に受領できる。

◆防犯設備士(優良)の位置付け

広義では防犯設備士ですが、資格更新を行い、かつ有効期限内の方の呼称として、防犯設備士(優良)を使用すること。防犯設備士は以下の3グループになる。

- ① 資格認定試験に合格して資格者証を取得後、初回の資格更新待ちのグループ
- ② 資格取得後3年以上経過し、資格更新したグループ
(これを防犯設備士(優良)とする)
- ③ 2012年度以前に資格取得し、資格更新していないグループ

●新資格者証、名刺シール、ネックストラップのご紹介



名刺への記載例と名刺シール



資格者証携帯用ネックストラップ



総合防犯設備士制度の見直しについて

総合防犯設備士の資格取得者を増やし、同制度の更なる充実強化のため、受験資格の要件緩和など資格認定試験制度を見直し、防犯設備士がもっと積極的にチャレンジできる制度とするとともに、スキルアップセミナー等を新たに実施し、総合防犯設備士の知識・技能の一層の向上を図ります。

1. 試験制度の見直し

総合防犯設備士の受験をし易くすることを第一とします。なお、講習認定試験に関する制度の見直しは行いません。

(1) 受験資格の見直し

- 現行の「防犯設備士資格取得後、実務経験3年以上且つ3年以内に資格更新済み」の要件を撤廃します。
- 防犯設備士の資格があれば実務経験を不要とし、受験可とします。
- 防犯設備士の資格取得後3年未満、及び平成24年以前の資格取得者の更新義務を撤廃します。ただし、資格停止している場合は受験できません。

(2) 科目合格制度の導入

①科目合格制

- 一次筆記試験を4科目に分割し、一度合格した科目は、次回以降の受験を免除する制度とします。ただし、有効期間は3年間です。つまり、3年間で4科目の試験に合格すれば二次試験の受験資格を得ることとなります。
- また、防犯設備士の資格更新を行った場合は科目Ⅰの試験を免除します。

②試験科目：

	科目	出題範囲	出題数	試験時間
科目Ⅰ	防犯設備士資格更新テキストからの問題	防犯設備士資格更新テキスト	資格更新問題 5 問	30 分
科目Ⅱ	セキュリティ全般 (セキュリティ、犯罪と防犯、防犯理論)	総合テキスト 1 章と 2 章	基本問題 4 問	90 分
科目Ⅲ	防犯対策の構築	総合テキスト 3 章	基本問題 2 問 応用問題 1 問	90 分
科目Ⅳ	総合防犯監査と防犯コンサルティング	総合テキスト 4 章	基本問題 2 問 応用問題 1 問	90 分

③試験問題

- 科目Ⅰは、防犯設備士資格更新テキストから出題し、穴埋め語句選択式です。
『資格更新テキスト』を受験教材として、購入（5,700円(税込)）のうえ自習して頂きますが、地域ブロックで開催する防犯設備士の更新講習を無料で受講可能となります。ただし、防犯設備士の資格は更新されません。
- 科目ⅡからⅣは、従来の総合筆記試験の問題と同等の内容、レベルです。出題は記述式を基本としますが、設問内容や解答方法について更に受験しやすくするための工夫を行います。

④合格基準

- 各科目70点以上の正答率を合格基準とし、合格した科目は3年間有効とし、次回受験時に免除します。全4科目に合格した時点で総合の一次試験合格となり、二次試験（面接試験）の受験資格を得られます。

⑤受験料

- ・初回受験料11,000円（税込）は変更ありません。次年度以降に合格していない特定科目のみを受験する場合であっても受験料は同額の11,000円（税込）です。

(3) 総合受験セミナー

- ・総合テキストの章立てで講義を行い、科目合格制においても科目Ⅱから科目Ⅳの講義を行います。また、科目Ⅰの講義は総合受験セミナーでは行いません。
- ・セミナーの形態はリモート会議（Zoom）で、年間4回実施します。

2. 知識・技能の向上施策

(1) スキルアップセミナーを新設

① スキルアップセミナーの概要

- ・最新知識を習得し、高い使命感、倫理観を持った総合防犯設備士の育成のため、スキルアップセミナーを年に1回実施します（6月～8月）。
- ・セミナーの内容は、2テーマの講義各50分（総合防犯コンサルティングについて、防犯設備の最新技術情報の提供、犯罪情勢について等）を予定しています。
- ・セミナー方式は会場集合方式を基本としますが、リモート（Zoom）でも受講可能とします。また、セミナー終了後に希望者による意見交換会を行い、総合防犯設備士間でのネットワークの構築、情報交換の場とします。

② 受講資格と受講料

- ・総合防犯設備士の資格保持者でなければ受講できません。
- ・受講料：5,800円（税込）

(2) 総合防犯設備士の資格更新

- ・従来は、年1回10月末に更新対象者に案内を連絡し、資格更新申請者の募集を行い『防犯設備士の資格更新用テキスト、問題』と資格更新レポートのテーマを郵送し、自宅学習で資格更新問題に解答し、資格更新レポート（1,500文字：A4サイズ2～3枚）と併せて期限までに提出することとしていました。
- ・今後は、防犯設備士の資格更新用テキストの学習については、防犯設備士の資格更新同様に自宅学習方式と講習方式のいずれかを選択できるようにします。また、講習方式については、防犯設備士の更新講習へご参加いただく形です。
- ・2024年度から新設するスキルアップセミナーを3年以内に受講した場合は、資格更新レポート提出の代用にできます。

